

1-14 水素エネルギー利活用普及促進事業

事業目的

水素エネルギーに対する有用性や安全性等の認知度を向上させることを目的として、商用水素ステーションの開所を記念したシンポジウムや普及啓発イベントを開催します。また、東北における水素エネルギーの利活用の加速化を図るため、東北経済産業局が主催する東北各県が協調した取組を検討・実施する検討会議に参加します。

事業効果

その他
(H29実施回数)

イベント等:
年4回程度

事業内容

●平成29年度事業費 総事業費 7,128千円（うちみやぎ環境税充当額4,600千円）

●事業概要

(1)水素エネルギーの普及啓発

水素エネルギーの有用性・安全性について理解を深めるためのパンフレット・パネル等の啓発資材を作成し、関係施設等での配布や各種イベント等で活用します。

(2)水素エネルギーシンポジウム及びイベントの開催

水素エネルギーに対する理解を深めるため、東北初の商用水素ステーションの開設に併せ、記念シンポジウム及び普及啓発イベントを開催します。

(3)水素エネルギー普及連携会議

東北における水素エネルギー利活用の加速を図るため、東北各県等と情報交換を行い、協調した取組を検討・実施します。

現 状

■水素エネルギーは生活に馴染みが少なく、水素エネルギーの有用性や安全性等に関する認知度は十分とは言えない状況にあります。

■東北地区では、四大都市圏と比べ、水素エネルギーの利活用が進んでいるとは言えない状況にあります。

税導入後のイメージ

■シンポジウムやイベント等を通じた水素エネルギーの認知度の向上や水素エネルギーの利活用の活性化が図られている。

■東北における水素エネルギー利活用の推進に向けた取組の検討が進められている。



シンポジウム



燃料電池自動車 (FCV)



エネファーム